

- ・今後の天候の見通し (3か月予報等)
- ・新たな防災気象情報

令和 8 年 6 月 4 日  
仙台管区气象台  
気象防災部予報課

# 東北地方の6～8月の天候の見通し (R8.5.19発表 3か月予報)

## 月別の平均気温・降水量

		平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
東北	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です				
		降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
東北	日本海側	少30 並40 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少30 並40 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です				

### 6月

- 期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 降水量は、ほぼ平年並。

### 7月

- 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

- 降水量は、ほぼ平年並。

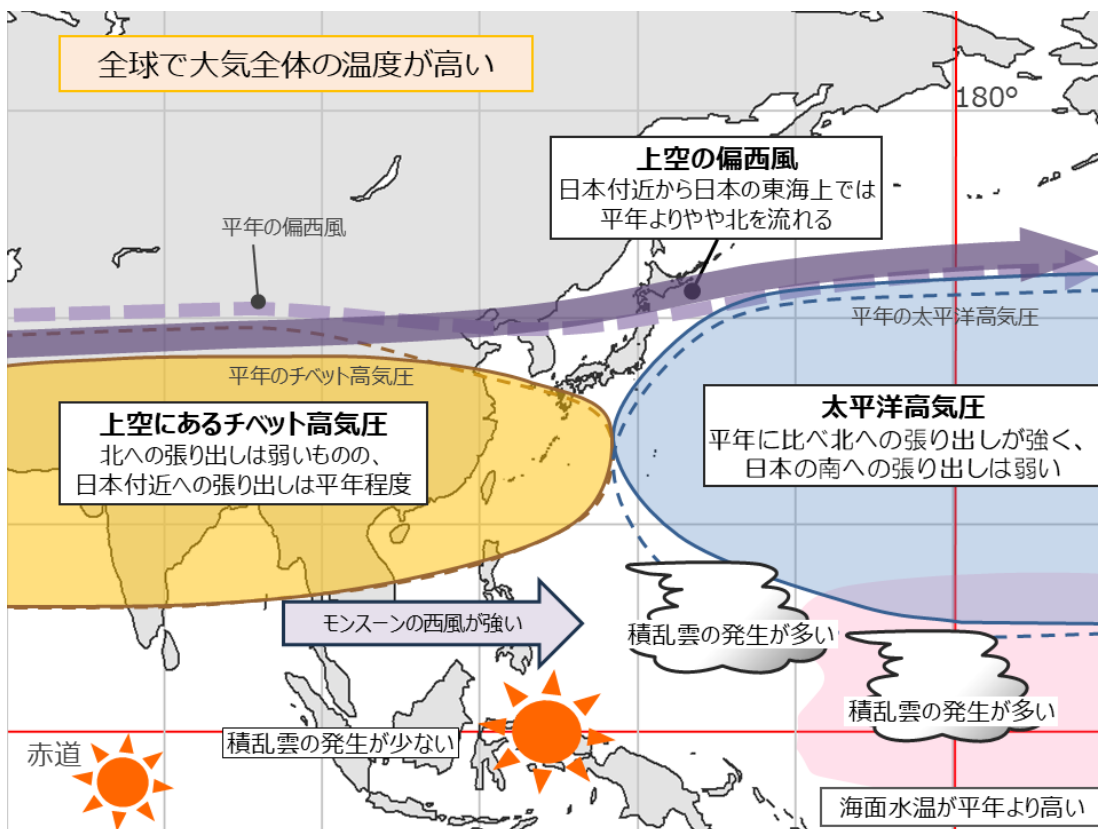
### 8月

- 東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

- 降水量は、ほぼ平年並。

※次回3か月予報発表は6月23日

# 予想される海洋と大気の特徴 (R8.5.19発表 3か月予報)



3か月予報は、主に熱帯域のゆっくりとした海洋変動の大気への影響に基づいています。

中高緯度の気象独自の変動（寒帯前線ジェット気流の蛇行や北極振動等）は予測の不確実性が大きいため、予報を検討する際にはこの点も考慮しています。

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いくでしょう。
- エルニーニョ現象が発生する可能性が高く、海面水温は太平洋赤道域の東部から中部で高く、北太平洋熱帯域の中部でも高いくでしょう。
- 積乱雲の発生はフィリピンの東から太平洋中部で多く、インドネシア付近からインド洋にかけては少ないくでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸では平年より南を流れるものの、日本付近から日本の東海上では平年よりやや北を流れる見込みです。チベット高気圧の日本付近への張り出しは平年程度くでしょう。また、太平洋高気圧の北への張り出しは強いくでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいくでしょう。

# 東北地方南部の梅雨入りと梅雨明け

年	梅雨入り	梅雨明け	梅雨の時期の降水量の地域平均平年比
2014年	6月5日頃	7月25日頃	95%
2015年	6月26日頃	7月26日頃	63%
2016年	6月13日頃	7月29日頃	67%
2017年	6月30日頃	—	106%
2018年	6月10日頃	7月14日頃	41%
2019年	6月7日頃	7月25日頃	113%
2020年	6月11日頃	8月2日頃	153%
2021年	6月19日頃	7月16日頃	77%
2022年	6月6日頃	—	104%
2023年	6月9日頃	7月22日頃	110%
2024年	6月23日頃	8月1日頃	118%
2025年	6月23日頃	7月18日頃	37%
平年	6月12日頃	7月24日頃	

- ・「—」は、梅雨入り梅雨明けの時期がはっきりしなかったため、特定しなかった場合を表します。
- ・「平年」は、令和2年（2020年）までの過去30年の平均（入り・明けを特定しなかった年は除外）の日付です。
- ・「梅雨の時期の降水量の平年比（地域平均値）」は、全国の気象台・測候所等での観測値を用い、概ね梅雨の期間に相当する6～7月（沖縄と奄美は5～6月）の2か月間降水量の平年比(%)を各地域で平均したものです。

# 新たな防災気象情報（警戒レベル相当情報）



## 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

情報と対応する防災行動をよりわかりやすくするため、情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。

レベル3～5は警戒レベル“相当”情報ですが、分かりやすさ、伝わりやすさを重視し、例えばレベル3相当の大雨警報は、レベル3大雨警報とします。



## 河川の氾濫の危険度の伝わり方が変わります（特別警報の新設など）

河川氾濫に関する特別警報として、新たにレベル5氾濫特別警報の運用を開始します。

レベル5氾濫特別警報は、洪水予報河川において氾濫が発生または切迫している状況となったときに発表します。



## 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

レベル4（避難指示）の発令等の目安となる「レベル4相当」の情報として、危険警報を運用します。（土砂災害警戒情報→レベル4土砂災害危険警報、など）



## 5段階の警戒レベルへの整合

避難情報に関するガイドラインでは、5段階の警戒レベルで住民がとるべき行動が設定されています。

対象となる災害（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）に関する情報等は、これまで警戒レベルと情報との対応が対象災害ごとに異なる運用となっていたところ、今回、5段階すべての警戒レベルに対応した情報をあらためて設定します。

# これまでの防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したものです。（例：警戒レベル4 = 避難指示、警戒レベル3 = 高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」という位置づけ**ですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があります。

## 警戒レベル

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難*	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

## 現在の防災気象情報 (警戒レベル相当情報)

警戒レベル相当情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川洪水予報 (河川毎)	洪水害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)	大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報	
4相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報	
3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える可能性が高い高潮注意報	
2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報	
1相当					

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

<警戒レベル4までに必ず避難！>

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

# 新しい防災気象情報（令和8年5月29日運用開始）

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル <b>5相当</b>	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル <b>4相当</b>	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル <b>3相当</b>	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル <b>2</b>	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル <b>1</b>	早期注意情報				災害への心構えを高める

# 河川氾濫・大雨に関する情報

- 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報**とし、「**レベル3 氾濫警報**」等の名称で発表します。これまでの気象台による**市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません**。
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。**洪水予報河川以外の河川についても、大雨に関する情報の中で一緒に扱います。**

## 河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等	
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、警戒レベルとの関係は変更しない。	大雨に関する情報で扱う。	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 (解析・予測)
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報	〔 洪水予報河川への移行を促進 〕	早期注意情報

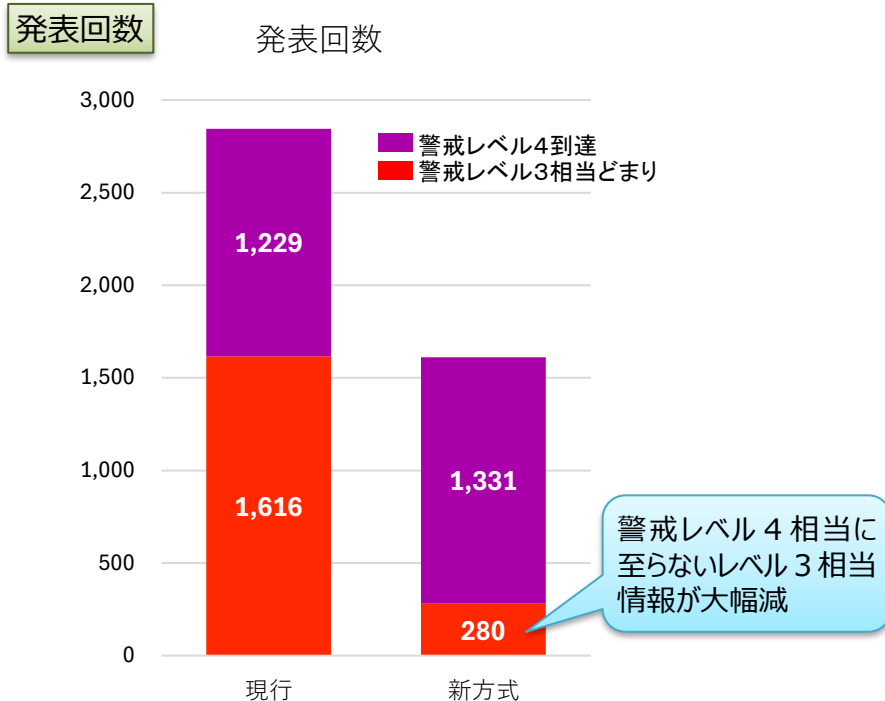
# 土砂災害に関する情報

- 警戒レベル4相当は、**現在の土砂災害警戒情報からレベル4土砂災害危険警報に変更**します。
- **レベル3土砂災害警報**は、3時間先※にレベル4土砂災害危険警報の基準に達すると予想した場合に発表します。現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない**情報発表を大幅に減らすことができます。**

※4～6時間先にレベル4基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

## 土砂災害に関する情報体系と名称

発表者	気象台	
発表指標	60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）	
情報名称	5	レベル5土砂災害特別警報
	4	レベル4土砂災害危険警報
	3	レベル3土砂災害警報
	2	レベル2土砂災害注意報
	1	早期注意情報



土砂災害に関する警戒レベル3相当及び4相当情報の発表回数の比較（令和5年6～9月のデータに基づく）

新方式の警戒レベル3相当情報の発表回数は、レベル4相当情報の基準（CL）に3時間先に到達すると見込まれる場合として算出。

# 高潮に関する情報

- 国土交通大臣が指定する海岸（**高潮予報海岸**）では、国土交通省・気象台・都道府県が共同で、「**波の打上げ高**」を加味した、より精度の高い高潮の予報・警報を実施します。
- **レベル5 高潮特別警報は、氾濫が発生または切迫している場合に発表します。**（台風等を要因とした高潮特別警報から移行）
- レベル4 高潮危険警報、レベル3 高潮警報、レベル2 高潮注意報は、浸水被害のおそれがある状況から**リードタイム**をとって発表します。

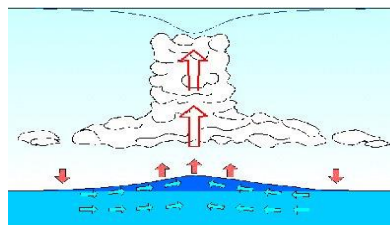
## 高潮に関する情報体系と名称

分類	高潮予報海岸	その他の海岸
発表主体	国土交通省・ 気象台・都道府県	気象台
発表指標	波による打上げ高を 考慮した水位・ 潮位	潮位
情報名称	5	レベル5 高潮特別警報
	4	レベル4 高潮危険警報
	3	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 高潮注意報
	1	早期注意情報

## ■ 現在の高潮予報・警報

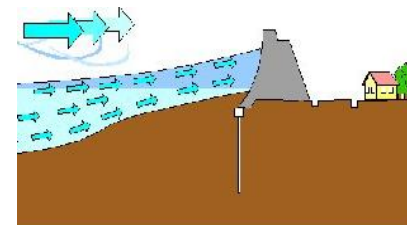
【吸い上げ】

気圧低下による潮位上昇



【吹き寄せ】

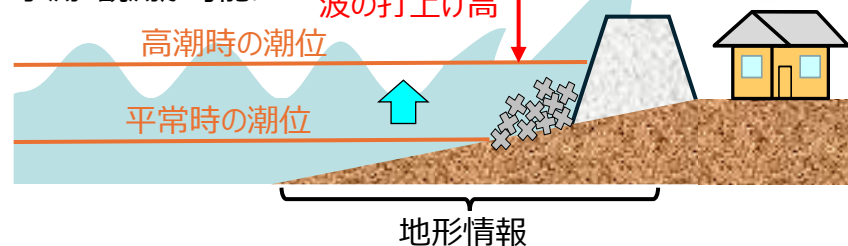
海岸に吹く風による潮位上昇



気象庁

## ■ 波の打上げ高を予報・警報に反映

- 波の打上げ高予測モデルや観測技術の開発により、波の打上げ高の予測・観測が可能に



国土交通省

都道府県

# 危険度の高まりに応じて発表される防災気象情報とその利活用

気象状況	気象庁等の情報	市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
災害の切迫・発生	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 <b>レベル5 特別警報</b>	キキクル <b>災害切迫</b> 緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 ・いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	<b>5</b>
<警戒レベル4までに必ず避難!>				
2時間～0時間程度前	<b>レベル4 危険警報</b>	<b>危険</b> 避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	<b>危険な場所から全員避難</b> ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	<b>4</b>
数時間～3時間程度前	<b>レベル3 警報</b>	<b>警戒</b> 高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	<b>3</b>
半日～数時間前	<b>レベル2 注意報</b>	<b>注意</b> 第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	<b>自らの避難行動を確認</b> ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	<b>2</b>
数日～約1日前	<b>早期注意情報</b> (警報級の可能性)	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	<b>災害への心構えを高める</b>	<b>1</b>

気象庁パンフレット「大雨や台風に備えて（令和8年4月2日掲載）」より

# 防災気象情報の令和8年5月29日からの主な変更点(まとめ)

## 河川氾濫・大雨

- **洪水予報河川**では、新設する河川氾濫の特別警報を**レベル5 氾濫特別警報**とし、(発表には、河川管理者の氾濫通報を活用)
- **水位周知河川**では、これまでの水位情報による氾濫危険情報等の発表を続けつつ、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **その他河川・下水道**では、**氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。
- **洪水警報**は、運用せず、**大雨の予報・警報と一体化**。(レベル4 大雨危険警報を新設)

## 土砂災害

- 警戒レベル4相当は、**土砂災害警戒情報からレベル4 土砂災害危険警報に変更**。
- **レベル3 土砂災害警報**は、3時間先※に**レベル4 土砂災害危険警報の基準に達すると予想される場合**に発表。  
※4～6時間先にレベル4基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

## 高潮

- **レベルに合わせた名称変更**。
- **気象庁**の潮位予測、**国土交通省**の波の打上げ高予測、**都道府県**の集約する地形情報等を結集し、国土交通大臣が**指定する海岸**について、**三者で共同して予報・警報**を実施
- **氾濫通報に基づく氾濫発生情報の充実**を図る。

## 共通

- **情報名称にレベルの数字**をつけて発表。
- レベル2では「注意報」、レベル3では「警報」と**統一感を持った名称**へ。

# 参考：警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いますが、警戒レベルには相当しないことに留意してください。

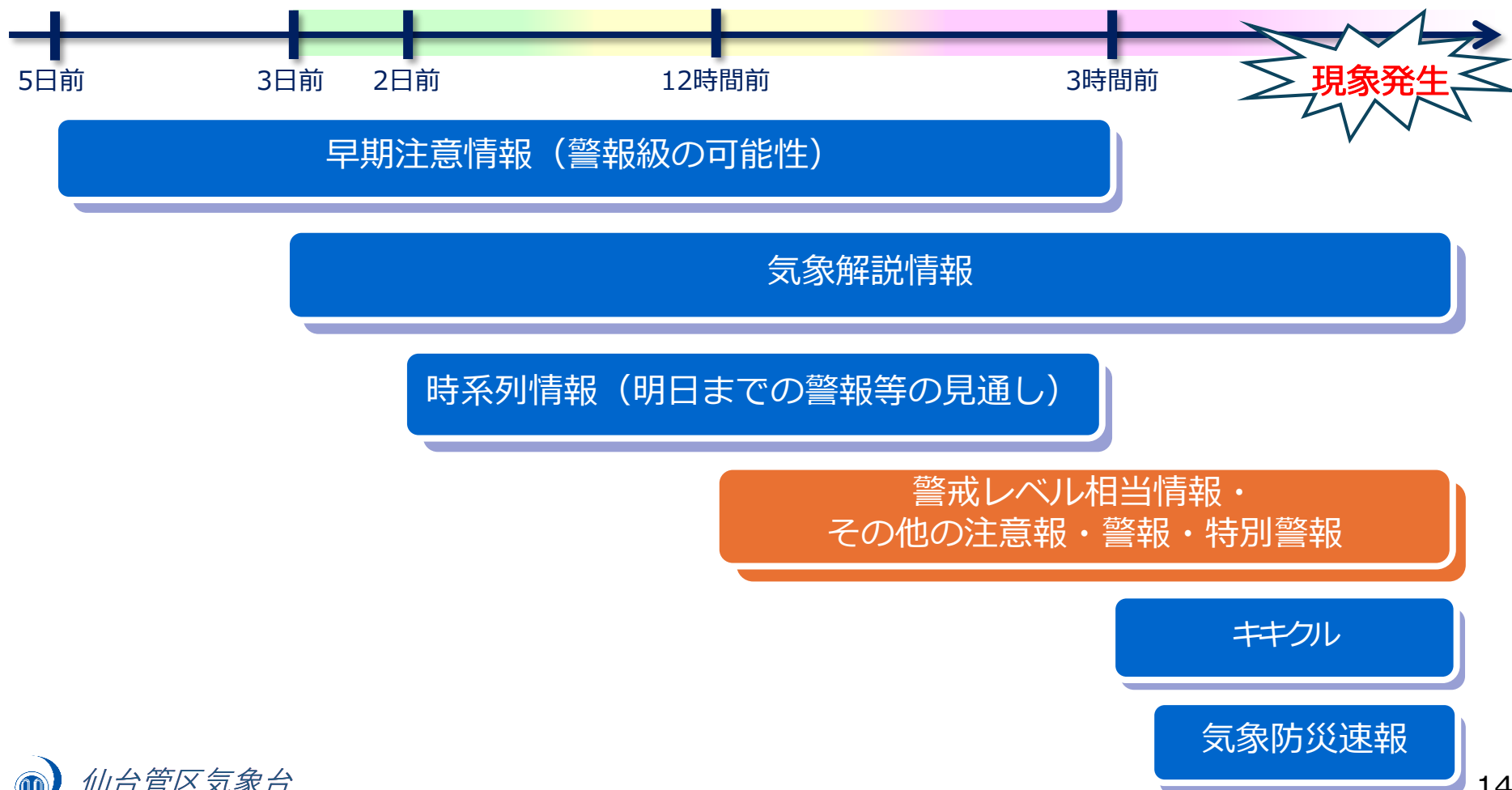
## 警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、暴風雪、大雪、波浪	重大な災害の起こるおそれ が著しく大きい場合に発表
警報	暴風、暴風雪、大雪、波浪	重大な災害の起こるおそれ がある場合に発表
注意報	強風、風雪、大雪、波浪、雷、 濃霧、乾燥、なだれ、霜、 低温、着雪、着氷、融雪	災害の起こるおそれがある 場合に発表

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

# 参考：段階的に発表される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
  - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
  - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



# 参考：早期注意情報・時系列情報

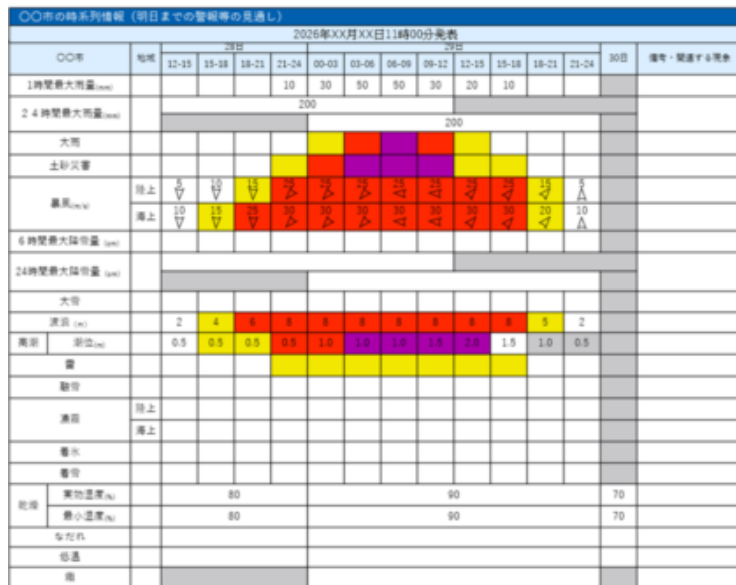
- 早期注意情報（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を公表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表





## 早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日				3日		4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-			
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-			

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

## 時系列情報（明日までの警報等の見通し）

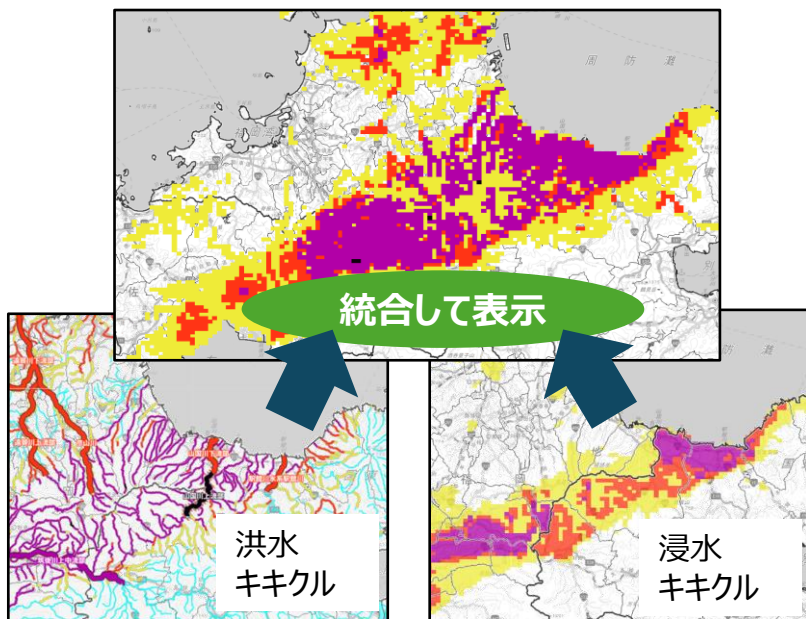


 災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
 危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
 警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
 注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

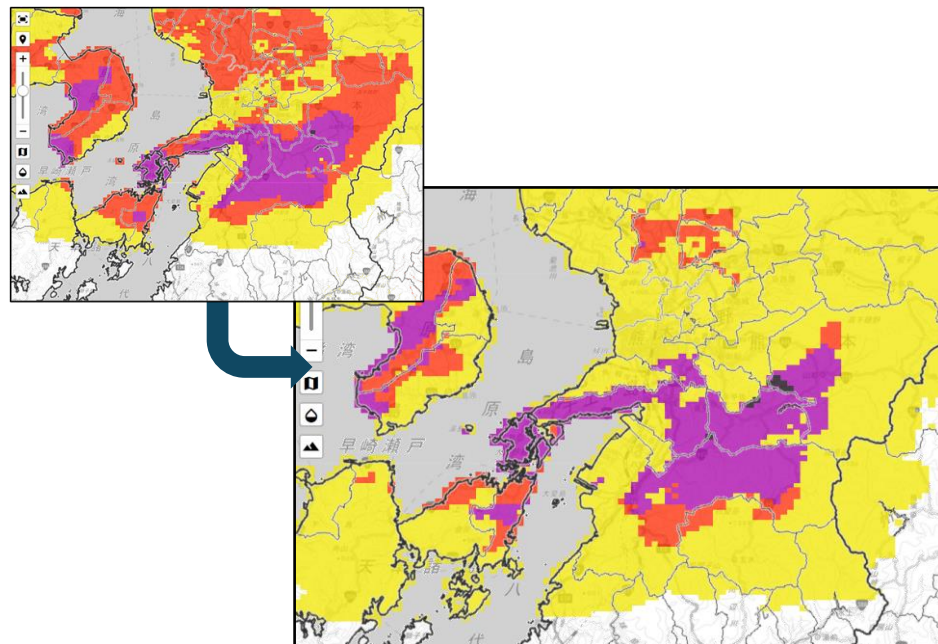
# 参考：キキクル

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。
- 「**大雨キキクル**」は、**大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示**するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「**土砂キキクル**」の警戒（赤色）については、以下の特性に留意が必要です。
  - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、**注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります**。
  - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、**警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります**。

## 大雨キキクル（イメージ）



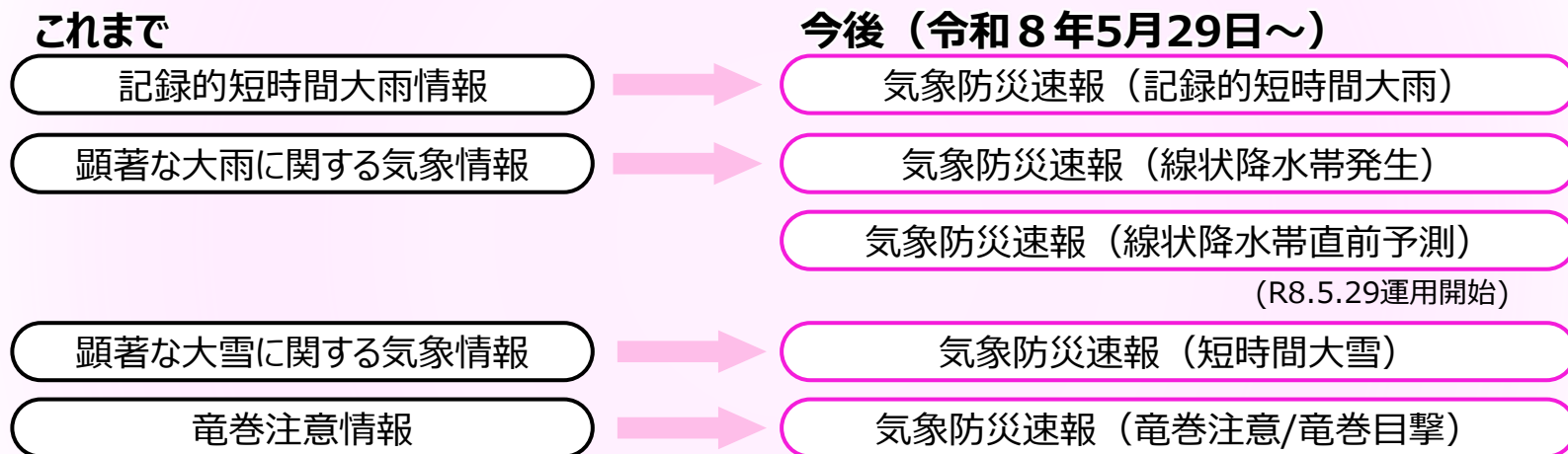
## 土砂キキクルの特性変化（イメージ）



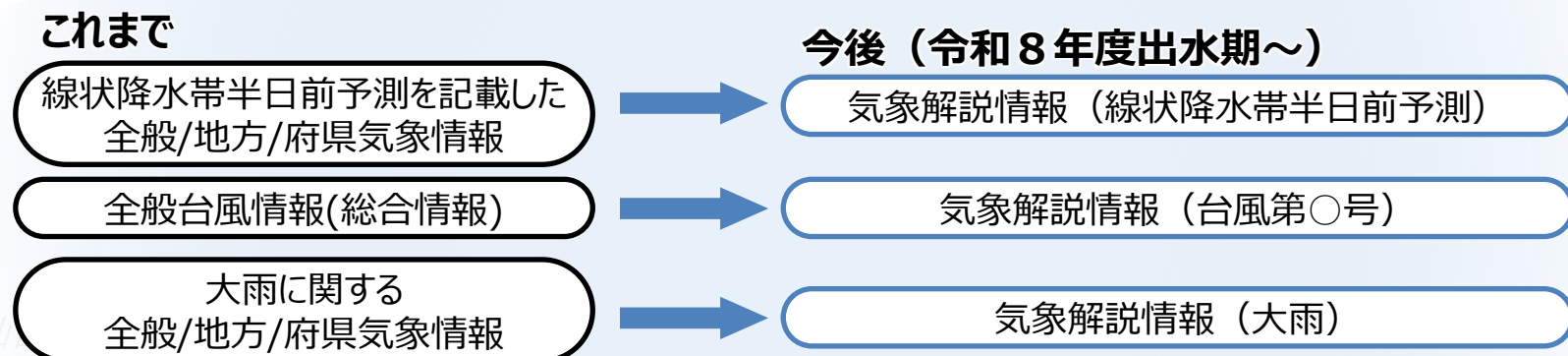
# 参考：気象防災速報・気象解説情報

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

## 気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報（府県単位でのみ発表）



## 気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報（全国・地方・府県単位で発表）



# (参考) 季節予報の発表予定

- **2週間気温予報** (毎日14時30分発表)
- **1か月予報** (14時30分発表) 毎週木曜日
- **3か月予報** (14時発表) 6月23日(火) 毎月第3火曜日を目安に
- **暖候期予報** (14時発表) 2月24日(火) 3か月予報と同時発表
- **寒候期予報** (14時発表) 9月18日(金) 3か月予報と同時発表
- **早期天候情報** (14時30分発表) 原則として毎週月曜日および木曜日に、基準を満たした場合に発表します。月曜日が休日の場合は火曜日に発表します。ただし、火曜日も休日の場合は月曜日に発表します。なお、木曜日は休日でも発表します。

※最新の季節予報をご利用ください

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

(気象庁ホームページ 防災情報)